



呼吸

第 8 号

発 上田高女・染谷丘高校
東京同窓会事務局
行 〒134 東京都江戸川区
中葛西3-9-11-506

生徒たちにそれぞれの花を

校長 吉岡 知雄

校門から続く唐かえでの木々の中を、朝日を浴びながら生徒が登校してきます。

読んでいるということ聞きまして、ほっとしました。世代はどこかで交叉しているようです。

私も、朝、日課となったように、体育館、校庭、テニスコート、吹奏班などと、いつものコースを廻る日々を重ねています。クラブを廻っていきますと、生徒は、気持ちよく挨拶をしますし、生き生きと躍動しています。そして、この生徒たち一人ひとりを伸ばして、それぞれの花を咲かせてやりたいと考えます。

私は、人を育てるということは、総合力とする時代に至っていると思っています。二十一世紀を担う人を育てるには、学校のみには、あるいは家庭のみにまかせるだけではいけないのではないかと考えています。

昨年十一月頃、図書館より、生徒が推薦している本を三十冊ほどかりて来ました。その中で私の知っていた本は、「かもめのジョナサン」など三冊のみでした。とにかく、それらの本を読みはじめましたが、数冊ほど読んで投了してしまいました。

先日、同窓生の榎本さんが、同窓会にお役に立てて下さいと浄財を持って訪ねて来てくれました。また、三代校長の八木先生のご家族からは先生の書と額をいただき感謝を致しております。それぞれ昔の話をうかがう中で教えられるものがいくつかあります。

「青春論」など数冊の本を手渡したのです。そのうちの何冊かを読んでくれました。そこで、私が読んでほしいと思う本を六十冊ほど感想などを添えて贈りましたところ、喜ん

て、新しい染谷丘高校を創造し、百年を迎えたいものだと思いに考えております。

ごあいさつ

母校同窓会長 白鳥 つな

東京同窓会の皆様お元気ですか。校門通路の唐楓並木は、現在春への躍動を待って冬眠中、旧校歌にある烏帽子岳は、冬の青空にくっきりと美しい姿を見せ私達に語りかけております。

同窓会館の維持費に有効に使わせていただいております。東京の同窓生にもたくさんお出しいただき総数八千余名の方々に協力いただきました。十二月に、会報を郵送し、会計報告とお礼を申し上げます。

女子硬式庭球班

三年班長 谷沢 京子

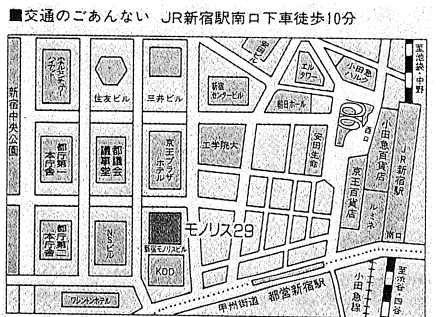


私達硬式テニス班を語るには原稿用紙一枚では無理があるので一マスたりとも無駄にできそうにない。さてまずこの班活の特徴ですが、先生、先輩、後輩がすくぶる仲が良いということ。たまにはけんかもしましたが、本当にみんな友達みたいに、これが良いか悪いかはわかりません。というのは少し、いやかなり厳しさが足りなかったという問題があるからです。この班活に厳しさがプラスされればもっと強くなれると思います。これを一つの自慢にしたいと思います。二つ目は、ムフフ、北信越大会に出場できたということ。あの時は運も良かったのだらうし、みんなの心が一つになったのが良かったと思います。それでは、三年間大変お世話になった小林彰先生に感謝し、これからの硬式テニス班の御活躍を祈って終わらせていただきます。

平成五年度総会のご案内

木々の若葉も一日毎に濃さを増して参りました。会員の皆様には、お変わりなくお過ごしでしょうか、お変わりなく、お伺い申し上げます。今年の総会は、かねてから皆様お待ちかねの新宿新都心・高層ビルの中の大変見晴らしのよい、モノリス29で開催いたします。

ご出席くださいませ。
日 時 平成五年五月三十日(日)
受付開始 午前十時三十分
開 会 午前十一時
閉 会 午後二時
場 会 モノリス29 新宿モノリス
電話〇三三五三八一九三二九
新宿区西新宿二二二一
新宿モノリスビル29階
(JR新宿南口徒歩十分)
会 費 金八千五百円也
同封の振り込み用紙でお振込みください。
※今年度も昨年度に引きつづき年度会費は徴収致しません。来年度以降の年度会費につきましては総会当日、アンケートを用意し、ご意見を頂きたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願いいたします。
付 記
◎当日会費の振込みを出席通知に代えますので、出欠ハガキは同封いたします。



交通のごあんない JR新宿駅南口下車徒歩10分

◎ご出席の方は五月十四日までにお振込みください。会費振込後にご出席をお取り消しになった場合、五月二十五日までにご連絡があれば、当日会費は後日精算させていただきます(連絡先)〇三三三六八八八六五九一 佐藤
平成五年四月十五日
この度小林前会長のあとをお引きうけることになりました。微力ではありますが、皆様方のお力添えをいただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
上田高女・染谷丘高校東京同窓会会長 佐藤 操 子 高2回卒業
追 伸
ご出席の皆様には、とても夢のあるおみやげをさし上げます。閉会后、新東京都庁舎の展望室をご利用になる場合でも決して荷物にはなりません。乞うご期待!!
東京都庁舎展望室から眺めませんか?
同窓会場モノリスから道路を隔てて都庁の建物が目に入ります
地上二百二メートルの45階展望室は休日にも見学ができます
都民広場側からお入りください
開室時間 平日は九時半～四時半
土曜・日曜・祝日・休日と
十月一日(都民の日)は
九時半～七時半まで
但し、終了30分前までにお入り下さい



演劇班

大久保ひとみ

厳しい冬の夕方遅く、校舎を最後に
出るのは私達演劇班です。演劇とい
と、生徒の半数は染谷祭にしか発表の
場がないと思っているようですが、そ
れは間違いです。三月半ばに東信大会
が開かれ、さらには八月の県大会、翌
年一月の関東ブロック大会と私達には

持つべき目標が沢山あるのです。
昨年の八月に行われた県大会では、
皆様に賞賛の言葉をいただき大変うれ
しく思っています。時間オーバーのた
めに残念ながら関東ブロックには出場
できませんでしたが、今度こそ、と間
近に迫る東信大会に向けて頑張ってい

母校同窓会総 会に出席して

東京同窓会庶務担当

コスモスの揺れる爽やかな十月三日
平成四年度の母校同窓会総会が、東部
町「みまき」において盛大に開催され
ました。

東京より四名が参加、現地集合で、
先に信州に行かれた方、当日早朝、関
越自動車道から国道十八号線を車で来
られた方、「あさま一号」にやっと間
に合った私と、それぞれのルートで
会場に着きました。

総会は、会務報告、決算報告と、と
どおりなく進み、つづいて吉岡学校
長の講演、懇親会へと移りました。
凛とした気品を漂わせた高女卒の先
輩方、アトラクションの数々、同窓と
いう糸に結ばれた皆が作る東部音頭の
輪(和)。くるみのお茶菓子に至る迄、
心に深く滲み入りました。信州滞在数
時間という慌ただしさでしたが、東京
から参加の四名声を合わせて「来て良
かったわね」。

母校同窓会のすばらしさに感動し、
会に寄せられる熱意と会長さまはじめ
役員の皆様の御苦勞に、頭の下がるお
もいでした。
親睦のみならず、後援、後輩の育成
等に対する姿勢に、多くの事を学ばせ
ていただきました。
本部の皆様に本当に温かく迎えてい
ただき楽しく意義ある時を過ごさせて
いただきましたことを心より感謝いた
しております。

退任のご挨拶

思い出は美しく
—— 小林 ふき子



いつもの笑顔で立つ小林前会長に「感謝のブーケ」
を差し出す佐藤新会長(向かって右)

東京同窓会の皆様、いかがお過ごし
でいらっしゃいますか。お伺い申し上
げます。私事、この度家庭の事情によ
り、東京同窓会長の職を解いて戴きま
した。皆様の温かいご支援とご協力を
得て、昭和五十八年より約十年の長き
にわたり、正・副会長という要職を勤
めさせていただきましたこと、心より
御礼申し上げます。

同窓会に関して一年に一冊、十年に
なんと十冊も記録をとりました。その
ノートをめくっていると、想い出の走
馬燈が回り続けます。まるで、止まる
ということ知らぬかのように、苦
しかったこと、楽しかったこと……い
ろいろありました……。

総会だより

「来年もきつとネ!!」

高14回卒 土屋 邦子

虎の門バストラール——ここが去年の
総会の会場でした。広々とした空間に
素敵なじゅうたんが映える。テーブル
には美味しいお料理がたくさん並び、
再会を喜ぶ笑顔で部屋は満ち溢れてお
りました。この総会に於いて、長年御
苦勞下された小林ふき子前会長さんが
勇退なされ、新会長さんに佐藤操子さ
んが満場一致で就任されました。新た
なスタートと共に次は楽しい懇親会が
始まりました。お客様は染谷、上田、
千曲の高校からもおいで下り、信州
の状況や、染谷の生徒さんの様子など
手に取る様に話して下さいました。中
でも素晴らしいお客様、その名は
「コール染谷丘」合唱団の皆さまです。
染谷丘卒業の方々で結成されていると
のこと。水色のドレスを着て満面に笑
みを浮かべ爽やかに唱う、どの曲もどの
曲も見事なハーモニーで心に染み入っ
てまいります。場内は水を打った様な
静寂さの中時折、「そと」涙をぬぐ

う姿があらこちらに見受けられまし
た。きつとどなたも卒業後の過ぎし
日々を思い、その全てが一瞬の夢の様
にも思えたのでしょうか。そして、「そ
うだ。私も染谷の卒業生だったんだ
わ!!」と新たな自覚と誇りと、そして
言い知れぬ力が湧き出て来るのを感じ
たことでしょうか。もっともっと長い事
聴いていたいどなたも思われたこと
でしょう。万雷の拍手が鳴り止みませ
ん。年齢も距離感もそこには無くただ
ただ「染谷」の二文字の中に場内は溶
け込んでおりました。総会も終り、然
し、別れ難いのでしょうか、ロビーで歓
談する人々、別の会場へ連れだつて行
く人々、静かに散歩しながら語り合っ
ている人々と三三五五に散っていく姿
は、まさに、染谷丘高校の生徒そのも
のでした。尽きぬ話に終止符を打ち、
「来年もきつとネ!!」と固い約束を交
わしながら……。

佐藤松苑様のご逝去にあたり、ご親
族や会員の皆様と、八王子霊園へ墓参
に行つたこと、母校を訪問して、母校
役員の皆様にご大歓迎を受けたこと、
「コール染谷」の皆様にご二回もご出演
願ひ総会を盛り上げていただいたこと、
「あゆみ」(小冊子・二種類)をお届け
したこと、会報「呼応」を第七号ま
で出したこと、横浜の中華街や、千葉
のシエラトンホテルでの総会等々。枚
挙にいとまがありません。

このように充実した同窓会活動は、
一重に実力のある多くのスタッフの
「和」から生まれたものと、関係諸姉
に心より感謝しております。

六年前から、東京と神奈川県厚木市
との間を往復して落ち着かない生活を
続けておりましたが、やっと決心して
終のすみかを、厚木市長谷に決めまし
た。丹沢連山の一つ「大山」の姿が美
しく、その山並みは、故郷の「烏帽子
岳」を思い起こさせてくれます。また
近くに森林公園があり、自然には恵ま
れていますので、孫とたわむれるに申
し分ありません。

所用で、東京には度々参ります。そ
の機会を利用して皆様とお目にかかり
たいものです。

最後に会員の皆様、元役員の皆様の
ご清福をお祈り申し上げ、ご挨拶の筆
を止めたいと存じます。

編集後記

☆人手不足等で、年度当初危ぶまれた
会報発行でしたが、平成五年の総会案
内を兼ねて第8号をまとめることがで
きました。お忙しい中、原稿をお寄せ
いただいた各位に紙上より厚く御礼申
し上げます。

☆校長先生は「子供を育て終わった人
こそ人を育てることに参加して欲し
い」と言っておられます。より広く同
窓生というご縁で、東京同窓会もお役
に立つことがあるかもしれません。総
会の席で何なりとご提案くださいま
せ。